

第2次島田市総合計画パブリック・コメント意見対応結果

委員会資料 3

平成29年度に行った資料2の記載例の質問に対する当局の対応表です。

質疑通告書から再質問含め3回の質問の中で出た議員の意見に当局が対応している形になります。

「反映状況」

○・・・内容を計画に反映・・・質問事項への回答

項目	ページ	意見・提案事項	対応	反映状況	担当課
施策の柱3-2	80~81	「2.付加価値の高い地域産業を創出します」について (1)主要な取り組みの事例の「6時産業など次世代の成長産業を見据えた企業誘致」と施策の柱である「世界に誇れる技術を持った中小企業を育てる(工業)」との関連は何か。	持続性のある、高い技術を持った次世代の成長産業を誘致することにより、このノウハウと独自性を市内中小企業に波及させていくという考え方です。	—	内陸F推進課
施策の柱3-3	83	中心市街地の交通量(平日)関連データについて (1)今年の3月、5丁目に「しまだ音楽広場」がオープン予定である。これを踏まえて、今後の本通り5丁目交差点の交通量のめざそう値を示していく考えについて伺う。 (2)関連データとして、中心市街地の交通量の休日についての考えを伺う。	(1)施策の柱のめざそう値につきましては、島田駅前通りと本通りが交差する本通二丁目交差点交通量数で評価しますが、ご意見いただき他県について、関連データとして、本通五丁目び〜ファイブ前通行者数を追加します。 (2)休日につきましては、現状、通行量調査を実施していないため掲載が難しい状況です。今後につきましては、状況に応じて追加調査を検討します。	一部○	商工課
施策の柱5-2	108.109	「2.島田市緑茶化計画をはじめとしたシティプロモーションの推進により、島田のブランド力を高めます」について (1)「島田市緑茶化計画」の認知度向上を島田市民に対して実施すべきではないか。	ご指摘のとおり、シティプロモーションの推進は市民も対象としています。市民の熱量を上げ、島田市への愛着度を向上させていくことが大切です。今後の「島田市緑茶化計画」の認知度向上への取組については、島田市民も含めた市内外に対して実施していくこととしているため、P109中段の主要な取り組み事例の●「島田市緑茶化計画」の認知度向上の前に「市内外への」の文言を挿入します。同様に別冊資料(主要な取り組み)P26についても挿入します。	○	広報課